

丸亀市行政評価委員会による評価作業について

「資料④：第二次総合計画後期基本計画 行政評価(内部1次評価)報告書」を基礎資料として、行政外部の視点から評価していただきます(6月30日(月)〆切)。

【評価作業1】基本施策の評価

第二次総合計画後期基本計画(令和4年度～令和7年度)を31の基本施策ごとに総括し、以下の基準により評価を行います。

評価基準	
A	計画を大きく上回る成果が出ている
B	計画をやや上回る成果が出ている
C	計画どおりの成果が出ている
D	計画をやや下回る成果となっている
E	計画を大きく下回る成果となっている

評価は、「評価作業シート①」の外部評価の欄に記入してください。

【様式イメージ】

第二次総合計画体系				施策評価	内部 評価	外部 評価		
基本方針		基本施策			1次			
Ⅰ	心豊かな 子どもが育つ	1	子どもの教育の充実	協働推進部 教育部				
		2	子育て支援の充実	健康福祉部 教育部				
Ⅱ	安心して 暮らせる	3	環境に配慮した社会づくり	都市整備部 産業生活部				
		4	廃棄物の適正処理と再資源化	産業生活部				
		5	緑のまちづくりの推進	都市整備部 教育部				
		6	土地利用と住環境の充実	総務部 都市整備部 産業生活部				
		7	公共交通の充実と離島振興	協働推進部 都市整備部				
		8	道路環境の整備	都市整備部				
		9	生活排水処理施設の整備	都市整備部				
		10	災害に強い都市基盤の整備	都市整備部				
		11	危機管理体制の強化	市長公室				
		12	消防・救急体制の充実	消防本部				
		13	交通安全・生活安全の充実	産業生活部				
		Ⅲ	活力みなぎる	14	農林水産業の振興	産業生活部・農業委員会事務局		
				15	商工業の振興	産業生活部		
16	観光・交流の促進			市長公室 産業生活部				

【評価作業2】 施策に対する意見

31 の基本施策ごとに、以下の視点によりご意見をいただきます。

＜評価の視点＞

- ・ 目標達成に向け成果指標は、順調に推移しているか。
- ・ 担当部長が考える評価の根拠及び改善策は、妥当であるか。
- ・ 担当課長が考える現状及び課題は、十分に分析できているか。
- ・ 今後、施策を進めるうえで検討すべき取組（手法）はあるか。 など

※その他、施策を取り巻く社会情勢から助言等がありましたらお聞かせください。

ご意見のある基本施策については、「評価作業シート②」に記入してください。

【様式イメージ】

基本施策No.	
---------	--

意 見

【評価作業3】 質問

評価作業にあたりご質問等ございましたら、6月16日(月) 17:00 までに政策課へお知らせください。ご質問の様式は問いませんが、基本施策No.や資料のページなどを記載いただき、該当箇所が分かるようにしてください。

なお、ご質問に対する回答は、6月20日(金)までに共有させていただきます。

【評価作業4】 評価の取りまとめ

評価作業1・2のとおり各委員が評価を行い集計した後、第2回行政評価委員会での審議を経て、委員会としての評価を決定します（評価の最終決定は、原則として多数決とします）。

なお、会議での意見等は集約し、基本施策ごとに整理して報告書（「資料⑤：第二次丸亀市総合計画前期基本計画 行政評価(外部評価)結果報告書」参照）にまとめます。

【その他】 参考資料

参考資料として、「資料⑥：令和6年度 丸亀市行政評価（内部評価）報告書」、「資料⑦：第二次総合計画後期基本計画」を配付していますので、適宜ご活用ください。

また、基本施策についてさらに詳しく調べたい場合は、市ホームページに「第二次総合計画(後期基本計画)重点プロジェクト進行管理シート」を公表していますのでご確認ください。

【重点 P 進行管理シートの検索方法】

①Google 等の検索エンジンで、「丸亀市総合計画」で検索



②「第二次丸亀市総合計画（令和4～7年度）」が、はじめに出てくるのでクリック



③総合計画のページ中の項目「総合計画の進行管理」の進行管理シートを確認

【進行管理シート イメージ】

No.1

コミュニティ・スクールの推進

担当部

教育部

担当課

学校教育課

【取組の概要】

保護者や地域に開かれた学校運営のもと、学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組むコミュニティ・スクールを推進し、地域とともにある学校を目指す。

【事業費】

(単位：千円)

予算事業名称	年度	財源内訳					
		事業費	国県支出金	市債	その他	一般財源	
		R4	1,060	0	0	0	1,060
		R5	1,030	0	0	0	1,030
		R6	1,030	0	0	0	1,030
R7	1,030	0	0	0	1,030		

【成果指標の推移】

	指標内容	基準値	進捗状況					目標値
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
①	学校が楽しいと感じる児童生徒の割合(①小学生、②中学生)	①91.5%	①91.7%	①91.6%	①92.3%	①93.1%	①93%	
		②89.4%	②89.7%	②88.1%	②90.0%	②87.0%	②91%	
②	地域との関わりがあると感じる児童生徒の割合(①小学生②中学生)	①66.9%	①67.5%	①73.7%	①75.2%	①60.6%	①70%	
		②43.4%	②45.0%	②46.8%	②47.1%	②38.2%	②50%	

【取組の計画と進行管理】

年度	取組の計画	評価	取組の進行管理 取組の状況・結果
R4	・各学校における年2回以上の学校運営協議会の実施 ・各小学校（17校）への中学校教員派遣の交流授業の実施 ・「丸亀市コミュニティ・スクールの現状」の周知（市広報紙にて掲載） ・学校と地域の連携活動（行事）の開催（学期に3回以上）	C	子どもたちの様子を委員が把握できるよう、学習参観日等の学校行事に合わせて運営協議会を実施している。中学校教員の交流授業は予定どおり実施している。コミュニティ・スクールの現状は、10月の市広報紙で周知した。連携活動については、新型コロナウイルスの影響もあったが、学期に3回以上、各校の環境整備や学習支援を行っている。
R5	・各学校における年2回以上の学校運営協議会の実施 ・小中連携市費講師の増員、小学校における教科担任制の推進 ・「丸亀市コミュニティ・スクールの現状」の周知（市広報紙にて掲載） ・学校と地域の連携活動（行事）の開催（学期に2回以上）	C	年度始めと年度終わりに、市内全小・中学校で学校運営協議会を実施した。学校運営協議会では、学校の現状や課題を報告し、具体的な教育活動について協議した。今年度、市費講師を5名から8名に増員し、11校の小学校で高学年を中心に教科担任制を推進した。また、市の1月の広報紙及びHPHに丸亀市の現状を掲載し、啓発を進めた。連携活動については、各学校の特色を生かした活動を継続して行なった。
R6	・各学校における年2回以上の学校運営協議会の実施 ・小中連携市費講師の増員、小学校における教科担任制の推進 ・「丸亀市コミュニティ・スクールの現状」の周知（市広報紙にて掲載） ・学校と地域の連携活動（行事）の開催（学期に2回以上）	C	年度初めと年度終わりに、市内全小・中学校で学校運営協議会を実施し、学校の現状や課題の報告と、教育活動についての協議が行われた。また、11名の市費講師を小学校に配置し、教科担任制を推進した。 また、学校と地域との連携では、地域の特性を生かした体験活動や学校支援により、教育活動の充実が図られている。特に中学校では、生徒が主体となって計画実行する地域との活動が行われた。
R7	・各学校における年2回以上の学校運営協議会の実施 ・小中連携市費講師による教科担任制の推進 ・「丸亀市コミュニティ・スクールの現状」の周知（市広報紙にて掲載） ・学校と地域の連携活動（行事）の開催（学期に3回以上）		

令和7年度 丸亀市行政評価委員会 スケジュール（案）

	委員	事務局
5月29日（木）14：00～	第1回行政評価委員会（評価作業の説明）	
6月17日（月）17：00	評価作業 質問✓切	
6月20日（金）		質問に対する回答
6月30日（月）	評価作業✓切	
7月10日（木）13：30～	第2回行政評価委員会（意見の取りまとめ）	
7月11日（金）		報告書（案）作成
7月25日（金）		報告書（案）送付
8月12日（火）	報告書（案）確認✓切	
8月13日（水）		報告書（最終案）作成
8月18日（月）		報告書（最終案）送付
8月 日（ ）下旬	報告書の提出	